

# Glocal Tenri



1

月刊 **グローバル天理** Monthly Bulletin Vol.12 No.1 January 2011

天理大学 おやさと研究所 Oyasato Institute for the Study of Religion, Tenri University

## CONTENTS

- ・ 巻頭言  
「価を以て実を買う」  
宝くじ信仰からの脱皮を・・・  
／深谷忠一 ..... 1
- ・ 天理教教史断章 (61)  
その他の文書④  
／安井幹夫 ..... 2
- ・ 天理教海外伝道の資料 (13)  
上海伝道関連史料⑬  
／深川治道 ..... 4
- ・ 天理異文化伝道の諸相 (76)  
コンゴ伝道に見る異文化接触 [42]  
／森 洋明 ..... 5
- ・ 今日の時代における宗教批判の克服学 (25)  
厳しい現状に直面する伝統仏教寺院  
／金子 昭 ..... 6
- ・ ハワイ人とキリスト教：文化と信仰の  
民族誌学 (22)  
ハワイ人とキリスト教の歴史①  
／井上昭洋 ..... 7
- ・ 天理スポーツ (8)  
相撲と天理④  
／難波真理 ..... 8
- ・ 宗教・国際協力・NGO (23)  
一食平和運動の歩み③  
／野口 茂 ..... 9
- ・ 図書紹介 (58)  
『国家神道と日本人』  
／島田 勝巳 ..... 10
- ・ English Summary ..... 11
- ・ おやさと研究所ニュース ..... 12  
平成 22 年度公開教学講座「現代社会と天理教」  
(1) / シンポジウム「第 1 回 宗教と環境」が  
開催 / 日本生命倫理学会にシンポジスト参加 /  
「生殖革命」と人間の未来シンポジウムに参加  
／第 232 回研究報告会 / 新刊案内 / 第 7 回伝道  
フォーラム「ネパールの天理教」・平成 23 年度  
公開教学講座のお知らせ

## 巻頭言

### 「価を以て実を買う」宝くじ信仰からの脱皮を・・・

おやさと研究所長 深谷忠一 Chuichi Fukaya

初詣特集なるインターネットの記事を見ま  
すと、神社・仏閣への“参拝者数ランキング”  
に並んで、御利益の多さランキング”なる数  
字が載っています。それによると、初詣の結  
果のご利益が1番多かった神社で16件、2  
～5位が10件、6位から下は10件以下だと  
あります。

この数字が如何なる調査によるものかは分  
かりませんが、もしこれが正確な数値なら、参  
拝者の何十万・何百万という数とのギャップ  
の大きさにびっくりしますし、また、間違い  
ならば、編纂者がこのような数値を何の疑問  
も持たずに載せていることに驚きを感じます。

何年前の正月、あるスポーツ新聞の一面  
に、「今年のセリーグは〇〇の優勝で間違いな  
し！△△監督が初詣で昨年のお賽銭！」  
との大見出しが躍っていました。10倍ってど  
れほどの・・・？と読んで記事を読みますと、「昨  
年は5円だったが、今年は10倍の50円のお  
賽銭・・・」と書いてあります。いくら何でも、“50  
円でプロ野球の優勝を請け負えないだろう”  
と思ったのですが、そんな記事が一面に堂々  
と載ったこと自体が驚きでもありました。

何百万人の参拝者があっても10数件のご  
利益。プロ野球の優勝祈願をするのに50円  
のお賽銭。ご利益を頂く確率が何十万分の一  
でも気にせずに参拝する数千万人がいる一方  
で、小銭一つで何百億円にもなる実を得よう  
とする人がいる。これが大方の日本人の信仰  
の実体なのでしょう。

日本人の信仰が何故そのような軽いものにな  
るのか？ その原因の一つは、日本人には拝む  
相手が多すぎるということです。八百万の神々  
プラス神仏習合ですから、相手が多すぎて何様  
を拝んでいるのやらよく分からない。だから相  
手とはつきり向き合えないし、本気でご利益を  
願うこともできないのだと思います。

一方で、かりに一生懸命拝んでいるつもり  
の人がいても、自分の何かを賭けて願って  
いるわけではないので、宝くじに当たる確率で  
しかご利益がなくても文句は言わない。そし  
て、もともと宝くじは小さなお金を出して大  
きな夢を買うものですから、どんなに大きな  
ご利益を願うにしても、実際に家や車を買う  
ごとく対価を払う必要はないと考えている

のです。

さらに申せば、昨今の日本人は、関わる対  
象が多様化して、一つの事に深く関わる時間  
がなく、また、そういう訓練も受けていません。  
例えば、大失恋で挫折を味わうという以前に、  
そもそも他者と全人格を賭けての関係を築く  
ことができないのです。それで、神様と向き  
合う時でも、初詣のような淡白な関係になる  
のだと思います。

それに比して、天理教の教祖は、「価を以て  
実を買うのやで」と言われます。神様は人間  
の親として、私たちの目におられる。何処  
か遠くに隠れているのではなく、人間一人ひ  
とりに向き合っ、その願いを確かに聞いて  
くださる。しかし、願いを聞いて頂くためには、  
人間の方も相応の価を出して、真剣に願えと  
いうことなのです。本教の信仰は、宝くじを  
買うようなあなた任せのものではなく、日々  
生きていく上に欠かすことのできない守護を、  
相応な価を出して与えて頂く自覚的な営みな  
のです。

しかるに、問題は、本教の中でも、本気で  
願う者が少なくなっているのではないかと  
いうことです。昔の布教師は、“医者がさじ  
を投げたら自分たちの出番だ”と奮い立った。  
信者も、“医者の手離れは神様がたすけて下さ  
る”と真実の限りを捧げて願った。ところが  
昨今は、布教師も信者も、医者がさじを投げ  
れば、自分たちも一緒にあきらめてしまう傾  
向にある。天理教人の信仰までが淡白になっ  
て、全人格的な関係を結ばなくてすむ医療や  
介護には頼るけれども、全てを賭けて“何が  
何でも神様に！”とは願わない。“〇〇土や△  
△カウンセラーもいけれど、神様の方はど  
うするの？”という場面に、たびたび出くわ  
すように思うのです。

“宝くじ信仰からの脱皮”を求めたが為に、  
古い信者さんに去られるようなことも、実際  
には経験するところです。しかし、それを恐  
れて何も言わないのでは、何時まで経っても  
本教の信仰の成熟はありませぬ。世の淡白な  
信仰の有り様に堰をして、神様と正面から向  
き合う信仰、「価を以て実を買う」本物の信仰  
を、胸を張って世に広めていきたいと思う次  
第です。